スピンドル

日本金属製造情報通信労働組合
八幡・戸畑・中間・遠賀地域支部
教宣部
2017年　5月号

1、雇用情勢について

総務省が3月31日に発表した労働力調査によると、2月の完全失業率（季節調整値）は前月比0.2ポイント低下の2.8%と、2ヵ月連続で改善しました。1994年6月に並ぶ22年8ヵ月ぶりの低水準で、3%を下回るのは94年12月以来。総務省は「人手不足から求人が多く、求職者の就業に結びついている。雇用情勢は着実に改善している」（労働力人口統計室）と分析しています。厚生労働省が同日発表した2月の全国の有効求人倍率（季節調整値）は1.43倍となり、3ヵ月連続で同じ水準でした。

都道府県別の求人倍率は、企業の求人票を受け付けたハロワークの受理地別、実際に働く就業地別ともに1倍以上となりました。

失業者数は前月比8万人減の190万人と、94年12月以来の低水準。自己都合による離職者は10万人、会社都合や定年による離職者は3万人それぞれ減りました。季節調整前の原数値で、正社員数は3397万人と前年同月比51万人増加。一方、非正規社員数は10万人減の2005万人と、15ヵ月ぶりに減少しました。総務省は「企業が人材確保のため、非正規社員を正社員に転換する動きが進んでいる」とみています。

求人倍率は、ハローワークに申し込んだ求職者1人当たりの求人数を示します。2月は求人数が0.7ポイント減少し、求職者数も0.5ポイント減りました。正社員の求人数は0.92倍。

〈九州各県と山口県の有効求人倍率〉

福　岡　1・39	佐賀 1・17	長崎 1・14
熊　本　1・47	大分 1・31	宮崎 1・33
鹿児島　1・10	沖縄 1・02	山口 1・44

●メーデー参加しました

北九州のメーデーは日射しもさほど強くなく快適でした。鉄鋼支部の香川委員長（地本書記長）メーデープラカード審査員をつとめ、門司小倉地域支部の今泉書記長（地本書記次長）が大会宣言を読み上げました。極東製作支部は30名全員が参加しました。その他安川、ＴＯＴＯ、八幡戸畑の北九州全6支部が参加しました。夕刻佐賀の岡本製作分会の宮原委員長から嬉しいメールが飛び込んできました。「今メーデーの行進をしています」と。

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

機関紙担当から　梶原　敏

組合員のみなさん　スピンドルに記事を送ってください。パソコンが苦手な人はお話しをお聞きして私が文字にします。(2017年5月22日)